

## 令和7年度学校評価アンケート 集計結果まとめ

## ＜評価方法＞

- (1)4段階評価をプラス評価(1,2)とマイナス評価(3,4)とし、判断できない(5)を加えて表示  
(2)全体合計において、以下の割合に基づいて、評価を行います。

①マイナス評価10%未満 プラス評価90%以上 ➔(A) ②マイナス評価20%未満 ➔(B+)

③マイナス評価25%未満 →(B) ④マイナス評価25%以上 →(B-)

⑤保護者の判断できないが10%以上(保護者への情報発信が不十分) ➔(\*C)

記述欄に書かれた意見や課題(抜粋)は、内容を要約したり表現を変えて記入しています。

- (4)アンケート項目(※回答者によって質問項目がない項目もあります)

- 【学校生活全般】【教育課程の充実】【専門性の向上】【文化・芸術】

【学校生活全般】【教育課程の充実】【等による向上】【文化・芸術、スポーツの推進】【関係機関との連携】  
【働き方改革】

## 【働き方改革】 評価の実現

(5)評価の未記入や重複しての記入がある場合は、そのままカウントしています。

【学校生活全般】

#### 【教育課程の質の向上】

- ③ (保護者) 学校が行う教科等の指導では、お子さんの力を育てる授業ができますか。(問3)  
(教職員) あなた(学校)は、教育課程の改善につなげる視点を持って授業づくりや学習評価ができますか。(問3)

- ④ (保護者) 学校は、お子さんの学習のねらいや評価について、個別の指導計画や通知表などで十分な説明ができますか。(問4)  
(教職員) あなた(学校)は、年間計画を意識し、単元評価計画を作成し、3つの資質、能力を育成するような授業改善を行い、観点別評価ができますか。(問4)

#### 【専門性の向上】

- ⑤ (保護者) 学校は、お子さんの自立活動の指導について、指導目標・内容を分かりやすく説明できていますか。(問5)  
(教職員) あなた(学校)は、自立活動の指導目標・内容を明らかにし、より実態に即した指導支援が行えるように、クラス会等で検討や見直しをしましたか。  
(問5)

⑥ (教職員) あなたの(学校)が行う教科等の指導において、自立活動の配慮を単元計画に記載する等して、教科学習を後ろ支えする自立活動の指導内容を意識した指導ができましたか。(問6)

評価	教職員		
	プラス評価	マイナス評価	判断できない
A	87.4	6.3	6.3
まとめと 今後に向けて		自立活動の指導内容を単元計画に具体的に落とし込み教科の学習においても、学習効果を高めるねらいをもって指導することが、教職員間で共有されてきているので、今後も組織的な実践が定着していくよう取組を進めていきます。	

⑦ (保護者) 学校は、児童生徒の学びやすさを保障するためにスイッチや端末(iPad、chromebook等)などICTを活用した授業づくりができると思いますか。(問6)  
(教職員) あなた(学校)は、児童生徒の個別最適化な学びに向けて、ICTの効果的な活用方法を学び、授業に取り入れることができましたか。(問7)

⑧ (保護者) 学校は、児童生徒の作品展への出品、音楽や芸術、文化に触れる機会の設定など、文化・芸術活動を積極的に取り組んでいると思いますか。(問7)  
(教職員) 学校は、児童生徒の社会参加を意識して、作品展への出品、音楽や芸術、文化に触れる機会の設定など、文化・芸術活動の振興に取り組むことができていると思いますか。(問8)

⑨ (保護者) 学校は、体育の授業やスポーツ大会への取組などを通して、スポーツ活動を積極的に取り組んでいると思いますか。(問8)  
(教職員) 学校は、児童生徒の社会参加を意識して、体育の授業やスポーツ大会への取組等を通じて、スポーツ活動の振興に取り組むことができていると思いますか。(問9)

評価	全体			保護者			教職員			
A	プラス評価	マイナス評価	判断できない	プラス評価	マイナス評価	判断できない	プラス評価	マイナス評価	判断できない	
	90.4	4.8	4.8	93.4	3.3	3.3	87.4	6.3	6.3	

記述欄に書かれたそう思う理由	
【保護者】	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動を楽しめる児童生徒は課外でのスポーツ活動なども含め積極的に取り組んでいると思います。わが子はあまり楽しめないのでそこまで重きをおいて取り組んでいないかと感じます</li> </ul>
まとめと 今後に向けて	すべての児童生徒が運動の楽しさや喜びを感じ、やってみようと思えるように、ダンスや表現運動など、多様な運動種目を取り入れ、自分の強みを発揮できる場を見つけるように工夫します。

⑩ (教職員) あなたは、タイムマネジメントに取り組んだり、ワークライフバランスを意識した働き方ができましたか。 (問10)

評価		教職員		
B	プラス評価	マイナス評価		
	78.1	21.9		
	まとめと 今後に向けて	教職員が健康的に、高いモチベーションをもって働ける環境を目指し、業務の効率化、業務の削減、会議時間の短縮等を検討し、働きやすい環境整備を進め、心身の健康を大切にする働き方を推奨していきます。		

⑪ (教職員) あなたは、グループや学部、分掌等で連携協力して業務に取り組むことができましたか。 (問11)

評価		教職員		
A	プラス評価	マイナス評価		
	90.6	9.4	記述欄に書かれたそう思う理由	
	まとめと 今後に向けて	<p><b>【教職員】</b>            ・学部、分掌で担当する業務は計画的に実行でき、連携や協力体制も整えて取り組むことができた。</p> <p>自分の担当業務だけでなく、学校全体の目標達成のために積極的に協力し合うチームワークを発揮することができ、組織的な運営能力が高まりました。今後は、さらに組織的な運営能力の向上を目指し、教職員間でのOJTの仕組みづくりを進めていきます。</p>		

⑫ (教職員) あなたは不祥事防止について、校内ルールを順守したり、研修等を通して自分事として意識したりすることができますか。 (問12)

評価		教職員		
A	プラス評価	マイナス評価		
	100.0	0.0	まとめと 今後に向けて	
			児童生徒の安全安心を最優先とし校内ルールを自分事として受け止め、教育活動に取り組んでいます。不祥事防止の意識を高くもち、絶対に起こさない起こさせない行動をとっていきます。時代の変化や新たなリスクにも対応するため今後も研修を続けていきます。	

## ○自由記述欄

○これから特に学校に力を入れてほしいことは何ですか（問10）（保護者）
アンケートに書かれた意見や課題(抜粋)
<p>・社会性やコミュニケーション、卒業後のことなど学びたいです ・若草特別支援学校 子鹿園 分校の通学生 リハビリ 送迎中止を保護者の同意も得ず 決定した人の処罰を求めます。 ・いつも色々対応して頂き、ありがとうございます。中学生になりますので、親子共々不慣れだと思いますが、よろしく指導お願い致します ・将来を見据えた取り組み ・個々の能力を活かす授業内容 ・身体機能の維持・向上を目的とした取り組み ・道徳的な授業など ・子ども達の喜ぶ行事・児童一人一人に合った支援や教育をしてくれていると思います。 ・1~8の全てを楽しそうに話して聞かせてくれるから。 ・特支の学習じたいが低レベルです。もしも、能力判断数値だけでは無く、個人の能力を引き出し（家庭での能力を耳に入れ）小学一年生からもっと学校が積極的に個人を評価し、個人のカリキュラムを高く組んでいてくれていたなら間違い無く我が子の今は違っていました。悔しくてたまりません。我が子について入学した時から説明してきましたが、学校は全く家庭での評価、母親の知っている我が子を知ろう、理解しよう、評価しようとはせず、学習なんぞしていませんでした。これが現実で悲しいです。</p>
○これから特に学校が力を入れなければならないことは何だと考えますか（問13）（教職員）
アンケートに書かれた意見や課題(抜粋)
<p><b>【組織運営】</b> ・学校目標の達成に向かって、教員が自ら新しい取り組みを提案すること。また一方で、業務を自分たちで整理して減らしていくことの意識を高めること。 ・様々な判断や運営を管理職に委ねることの多さが気になるため、ミドルリーダーの運営力を高めることが必要。例えば、①主事とクラス長が中心になって、学部を回していく体制が必要。②中・高等部学部主事を、主幹ではなく、学部教員にして、運営を自分たちで行う意識の向上と体制づくりをする。 ・組織力を高めて、保護者や他連携機関との信頼を回復していくこと。</p> <p><b>【コミュニケーション】</b> ・センターとの連携。保護者との関係づくり。 ・教職員間の人間関係作り ・信頼関係作り ・基本的な報告連絡相談と風通しの良い環境づくり ・教員同士・保護者・管理職との連携をより強め、児童生徒の心身の成長につながるようにすること（今さらですが、現在ちぐはぐになっているように思えるのであえて） ・教員間での情報共有 ・学校全体でコミュニケーションを取っていくこと ・近隣施設との連携の再考 ・管理職と教職員の信頼関係の回復 ・信頼関係の回復（保護者、教職員同士も） ・情報の共有意識（重大案件、ヒヤリハット等）</p> <p><b>【職場環境】</b> ・風通しの良い職場づくり ・教員が働きやすい学校創り</p> <p><b>【専門性向上】</b> ・授業規律や学級づくりという点で、今年度のクラスで学ぶことが沢山ありました。言葉遣いや友達との関わり方等、自分自身指導するうえで課題が沢山あったので、今後授業をする上でこういった点に立ち返り、授業を行うことが大切だと感じました。 ・児童生徒の実態把握を適切に行い、それに沿った授業計画 ・教職員の人権意識の向上 ・教員一人一人が、教員としての専門性を高めて、他職種と協働しながら実践を積んでいくこと。 ・授業改善。それぞれの教員の授業時数が多く、多忙なため、時間の調整は難しいと思うが、授業の質の向上をはかるためにも、他の授業を見て学ぶ場を設定できたら、と感じた。 ・的確な支援・指導力、情報共有、思いやる心</p>